

2011  
第38号

# 8万

(須賀川市人口78,226人 11月1日現在)  
[前年同月比 △1,298人]

今回の逸品紹介は、(財)須賀川市農業開発公社が最初に手掛けた商品である「ふるさとの味・岩瀬のみそ」と、平成18年発売の「胡瓜美水(きゅうりすい)」、平成19年発売の「胡瓜美潤(きゅうりクリーム)」です。



『ふるさとの味・岩瀬のみそ』は、須賀川市岩瀬地域産の大豆とブランド米である清流米(コシヒカリ)を5:5の配合で製造している天然醸造、無添加の米みそです。

岩瀬地域の生活改善グループに製造を委託して、地元の手作り特産品として、「はたけんぼ」などで販売しています。



『胡瓜美水(きゅうりすい)』と『胡瓜美潤(きゅうりクリーム)』は、須賀川市特産の緑色鮮やかな、もぎたてのシャキッとしたキュウリ(規格外のキュウリを活用)と、須賀川の湧き水を使用した無香料・無着色の基礎化粧品です。

『胡瓜美水』は、化粧水です。

ボタンエキスやヒアルロン酸を配合していますので、お肌を引き締めながら、ひんやりと潤して、みずみずしさを保ちます。空気が乾燥している時でも、朝まで肌の潤いが保たれ、特に敏感肌の方々に注目されています。

『胡瓜美潤』は、化粧クリームです。

キュウリエキスのほか、保湿効果のあるモモの葉エキス、ボタンエキス、アセチルヒアルロン酸Naなどを配合しており、肌荒れや乾燥からお肌を守り、みずみずしいハリのあるお肌へと導きます。

モモの葉エキスには、須賀川市内で生産するモモの木を剪定した際に切り落とした葉を使用しているそうです。

問い合わせ先  
(財)須賀川市農業開発公社  
TEL. 0248-65-3659

## 逸品紹介!

## すかがわ探訪

# 政務調査費

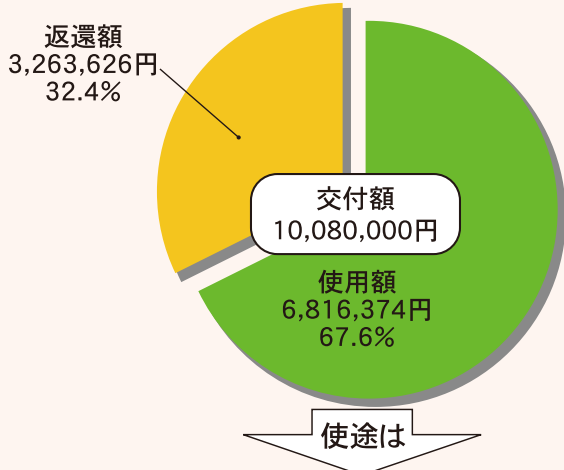
## このように使用されています

本市では、議員の調査研究に必要な経費の一部として、平成13年度より使用基準を定め、議員一人当たり月額3万円を会派に交付しています。年度末までに支出残額がある場合は、市に返還しています。

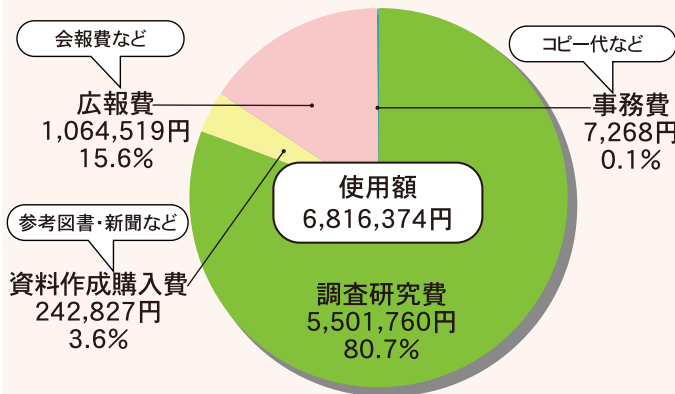
使途の内容については、その都度領収書とともに行政調査報告書を提出しています。

本号では、平成22年度の改選前の政務調査費の決算についてお知らせします。

◆平成22年度政務調査費支出状況



◆平成22年度政務調査費使途割合



◆平成22年度政務調査費決算一覧表

(単位 円)

会派名	会派構成	会派への交付額(A)	会派での支出合計(B)	内 訳				収支差引(A-B) 市への返還額
				調査研究費	資料作成購入費	広報費	事務費	
志政会	佐藤瞭二 関根保良 五十嵐伸 塩田邦平 広瀬吉彦 八木沼久夫 細谷松雄 大内康司 高橋秀勝	3,240,000	2,145,920	1,815,395	0	327,600	2,925	1,094,080
新政クラブ	鈴木忠夫 相楽健雄 生田目進 加藤和記 市村喜雄 大越 彰 塩田和幸 村山廣嗣	2,880,000	1,875,431	1,783,182	91,465	0	784	1,004,569
明政会	鈴木正勝 桐生傳一 渡辺忠次	1,080,000	850,879	801,092	47,795	0	1,992	229,121
市民連合	菊地忠男 大倉雅志 水野敏夫	1,080,000	1,080,000	759,021	2,625	318,310	44	0
日本共産党市議団	橋本健二 丸本由美子	720,000	694,625	331,570	100,942	260,595	1,518	25,375
洗心	森 新男	360,000	0	0	0	0	0	360,000
須賀川市民ネットワーク	鈴木公成	360,000	159,519	1,500	0	158,014	5	200,481
市政・花の会	川田伍子	360,000	10,000	10,000	0	0	0	350,000
合計	8会派 28人	10,080,000	6,816,374	5,501,760	242,827	1,064,519	7,268	3,263,626
構成比		100.0%	67.6%	—	—	—	—	32.4%
支出額の構成比			100.0%	80.7%	3.6%	15.6%	0.1%	

の4会派は、政務調査費交付に限り認められている会派名  
政務調査費 28人×30,000円×12か月=10,080,000円

◆平成22年度会派行政調査・研修会一覧

会派名	期日	参加者	調査・研修先	調査・研修内容
志政会	H22. 5. 17 ～20	8	佐賀県 佐賀県唐津市 大分県日田市	佐賀空港の夜間貨物便 子育て緊急サポートセンター アダプトプログラム、市民環境会議
	H22. 6. 16	2	須賀川市 (第2委員会室)	二元代表制における地方議会の役割と行政 評価の活用
	H22. 10. 13 ～16	8	石川県金沢市 富山県富山市 福井県福井市	学校教育金沢モデル 森林ボランティア支援事業 地域交流プラザ整備事業
新政クラブ	H22. 5. 23 ～26	8	佐賀県鳥栖市 福岡県福津市 福岡県宗像市	鳥栖みらい会議 まちづくり出前講座 行財政改革
	H22. 6. 16	8	須賀川市 (第2委員会室)	二元代表制における地方議会の役割と行政 評価の活用
	H22. 10. 26 ～29	8	富山県富山市 富山県小矢部市 石川県白山市	公共交通活性化計画 定住促進助成金 景観条例
	H22. 12. 19	3	茨城県笠間市 茨城県ひたちなか市	遊休農地対策
明政会	H22. 4. 22 ～24	3	熊本県阿蘇市 熊本県上天草市	バイオマスエネルギー 13地区のまちづくり運動
	H22. 6. 16	3	須賀川市 (第2委員会室)	二元代表制における地方議会の役割と行政 評価の活用
	H22. 10. 20 ～22	3	奈良県大和郡山市 愛知県犬山市	産学官ネットワーク(元気城下町づくり事業) 第5次犬山市総合計画策定
	H22. 11. 10 ～12	3	秋田県湯沢市 青森県つがる市	新庁舎建設 社団法人屏風山野菜振興会の取り組み
市民連合	H22. 5. 11 ～14	3	沖縄県石垣市 沖縄県宜野湾市 沖縄県沖縄市	まちなか景観助成金 ベイサイド情報センター 高齢者居住サポートモデル事業
	H22. 10. 18 ～21	3	岡山県津山市 京都府舞鶴市 奈良県大和郡山市	公募提案型協働事業 部長マニフェスト 産学官ネットワーク(元気城下町づくり事業)
	H22. 11. 4 ～5	3	イオンモール名取エアリ 福島県都市計画課	出店計画の概要と現在の状況 県の都市計画の概要と見直しの進め方
須賀川市民 ネットワーク	H22. 8. 19	1	福島県石川町	石川地方町村広域連携事業(婚活事業)
市政・花の会	H22. 6. 16	1	須賀川市 (第2委員会室)	二元代表制における地方議会の役割と行政 評価の活用

◆会派報一覧

会派名	会報名	内容
志政会	志政会だより	5月発行 25,000部 会派行政調査報告など
市民連合	市政報告「あすなる」 議会報告「しぎかい」 議会報告「道」	7月発行 7,000部 一般質問概要、会派の要望事項など 1月発行 7,000部 一般質問概要、新年度予算編成に関する要望書など
日本共産党 須賀川市議団	日本共産党市議会だより	8月発行 15,000部 一般質問概要、橋本市政など
	議会レポート「かけある記」	毎週1回発行 306号～341号(各号1000枚) 所属議員による活動レポート
須賀川市民 ネットワーク	須賀川政治新聞	10月発行 29,800部 議会特集など

# 委員会の活動方針

## 総務

### 常任委員会

本委員会は、議会から付託される議案を審議するだけでなく、

① 総合的な危機管理体制の整備に関すること

② 行政機能の確保に関すること

③ 所管事務の執行に関しては

・ 震災後における行政の対応に関する検証  
 ・ 今後の危機管理体制のあり方などの協議検討  
 を通年の取り組む課題として、継続して審議することにし

ました。  
 本委員会の所管事項は主に企画財政部、行政管理部ですが、現在策定中の「須賀川市震災復興計画」の進捗状況も検証していきます。そして、一日でも早く震災前の状態に回復させ、10年後には子どもたちのために、災害に強い「安全」「安心」な、住んでよかつたと思われる須賀川市にしなければなりません。  
 そのためにも、財政の執行状況と効率的な行政運営を検証するため、中期的な財政状況を把



握しなればなりません。また、専門的な知識を有する大学教授などの経験者を招いて、幅広い知識習得も図ります。

委員会は定期的に開催し、必要に応じて現地調査など、積極的な委員会活動で、当局に対して要望・提言を行い議会活動の市民への周知徹底を図っていきます。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 生田目 進 |
| 副委員長 | 大倉 雅志 |
| 委員   | 関根 保良 |
| 委員   | 佐藤 瞭二 |
| 委員   | 丸本由美子 |
| 委員   | 大越 彰  |
| 委員   | 鈴木 忠夫 |

## 建設水道

### 常任委員会

本委員会は、道路、河川、都市計画、その他建設一般に関する事項及び水道事業に関する行政事務の調査、条例などの議案請願・陳情の審査を行っています。

現在、本委員会が調査・審査している案件は、主に東日本大震災からの復旧・復興に関することと、内水対策として準用河川「下の川整備」に関することです。

震災などに関しては、市の「震災復興計画」にもとづき、本委員会に関する部分の審議を行い、「震災復興及び放射能汚染対策特別委員会」に反映することになります。「下の川整備」については、市に改修計画と水害防止策の資料の提出を求めて協議を進め提言を行っていきます。時に委員会は、緊急的な事案について調査・審査を行うことがあります。たとえば、9月下旬に発生した台風15号の甚大な被害については、卸センターや

前川地区など、被災された現地に出かけ調査するとともに、当局に係る資料の提出を求めて協議した結果、委員会として緊急的な対応が必要であることを議長に申し出しました。  
 今後必要により、先進地などの行政視察も行っていきます。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 橋本 健二 |
| 副委員長 | 広瀬 吉彦 |
| 委員   | 安藤 聡  |
| 委員   | 八木沼久夫 |
| 委員   | 菊地 忠男 |
| 委員   | 高橋 秀勝 |
| 委員   | 渡辺 忠次 |



## 生活産業

### 常任委員会

本委員会は、生活環境部と産業部、農業委員会の事務・事業を所管しています。

新しい委員会構成後、最初の委員会において、本委員会が今後継続して取り組んでいく具体的調査項目について話し合いをしました。

委員からは、震災からの復旧・復興に関すること、がれきの処理に関すること、放射能対策に関すること、防災無線の体制強化に関することなど、現在の本市が直面している課題に関する意見が多く出されました。

これらの意見を踏まえ、本委員会として取り組んでいく調査項目を「市民生活及び産業における復旧・復興策について」及び「所管の事務の執行について」といたしました。

本委員会は、震災を受けての今後の防災体制のあり方、大量に出されたがれきの処理、被災した農業基盤の早期復旧、商・工業者の復興支援など、市民の



皆様が安全・安心な生活を送る上で重要な行政課題を所管していますので、被災された市民の皆様の思いや願いをしつかりと伝え、政策に反映できるように、委員各位の英知を結集して取り組んでいきます。

委員長 塩田 邦平  
副委員長 車田 憲三  
委員 本田 勝善

森 新男  
加藤 和記  
大内 康司  
水野 敏夫

## 教育福祉

### 常任委員会

本委員会は、教育委員会と健康福祉部を所管しています。

このたびの大震災、原発事故による災害からの一日も早い復旧・復興の実現に向けて、市民の声を市政に反映できるよう、所管の事項の現地調査や対策の提言などを行ってまいります。

去る10月5日には、第一小学校の仮校舎、市老人福祉センター内の避難所の現地調査を行いました。

今後、重点的に取り組む課題として、学校施設などの復旧、耐震化による安全な施設の整備、震災後の子ども達の心のケアとともに長期にわたる継続的な健康管理などについて、調査研究を行ってまいります。

また、放射性物質の除染・除去のしつかりとした対策と実施、内部・外部被曝検査、治療に対応できる地域医療の拠点病院の整備などについて、調査研究を行ってまいります。

さらに、前委員会での提言な

ども踏まえながら、生涯学習の機会の充実、芸術文化の振興や子育て支援と介護、障がい者福祉などの向上に向けたそれぞれの方の事業の進め方に合わせた調査研究活動を通じて、検証・政策立案・提言を行ってまいります。

委員長 鈴木 正勝  
副委員長 川田 伍子  
委員 圓谷 年雄  
大寺 正晃  
石堂 正章  
五十嵐 伸  
市村 喜雄



# 震災復興及び 放射能汚染対策 特別委員会

本委員会は、十一人の委員で構成し、未曾有の大震災による被災からの一日も早い復興に向けて、「須賀川市震災復興計画」の進行管理と国・県など関係機関への働きかけを軸に、市議会における震災対策の検討機関として位置付け、「須賀川市復興会議」及び「須賀川市が設置する各プロジェクトチーム」を包括的に所管する委員会として設置しました。

被災されて様々な困難に直面されている市民の方々の願いや思いをしつかりと受け止めていくとともに、放射線の健康への影響に脅える生活を余儀なくされている市民の皆様が、震災前と同じように安心して普通の生活に一日でも早く戻れるように、国・県に対し、早急な除染活動をするよう働きかけをしていきます。

今後、本委員会は、震災復興



への道筋がある程度確実に進むまで、息の長い活動をしていくとともに、様々な形で早期復興に向けて関係機関に提言・要望をしていきます。

委員長 五十嵐 伸  
副委員長 大越 彰  
委員 安藤 聡

本田 勝善  
大寺 正晃  
車田 憲三  
大倉 雅志  
加藤 和記  
橋本 健二  
大内 康司  
渡辺 忠次

# 議会制度改革 特別委員会

これからの議会活動の一層の充実を図るため、現状における課題や問題点を明らかにし、新たな議会基本条例の制定の必要性などを探るため、昨年6月に設置した「議会制度検討委員会」では、

## ① 「議会内部の問題」

議員のあり方、議員同士の活発な討論及び意思決定の場の設置と活用、当初予算の議決方法、決算審査のあり方、一般質問のあり方など

## ② 「議会と市民の問題」

「市民の声」の吸い上げ方、行政懇談会などへの関わり方、市民にわかりやすい議会のあり方、議会だよりの活用など

## ③ 「議会と当局の問題」

各種審議会との関係、各種マスタープランなどとの関係、一部事務組合や出資法人などとの関係、パブリックコメントなど

の3つの課題を抽出しました。本委員会では、「議会制度検討

委員会」での協議を受け継ぎ、これらの課題を軸に今後テーマを設定し、課題解決に向けた協議・検討を行っていくとともに、新たに発生した課題や将来において予想される問題点についても積極的に議論していきます。

委員長 市村 喜雄  
副委員長 佐藤 瞭二  
委員 関根 保良

塩田 邦平  
広瀬 吉彦  
八木 沼久夫  
丸本 由美子  
鈴木 正勝





# 12月定例会のお知らせ

会期運営予定表

月 日	会 議 の 内 容
12月1日(木) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	会 期 の 決 定
	会議録署名議員の指名
2日(金)	全議案一括上程
	議 案 調 査
3日(土)	休 会
4日(日)	休 会
5日(月)	議 案 調 査
6日(火) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
7日(水) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
8日(木) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
	議案に対する総括質疑 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑
9日(金)	<b>委 員 会</b>
	総務常任委員会
10日(土)	休 会
11日(日)	休 会
12日(月)	<b>委 員 会</b>
	建設水道常任委員会
13日(火)	<b>委 員 会</b>
	生活産業常任委員会
14日(水)	<b>委 員 会</b>
	教育福祉常任委員会
15日(木)	<b>委 員 会</b>
	予 算 委 員 会
16日(金)	事 務 整 理
17日(土)	休 会
18日(日)	休 会
19日(月) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決
	議員提出議案/意見書案/決議案の質疑と採決
	請願(委員長報告)の質疑と採決 継続調査事件の申し出(委員長報告)

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各常任委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

各常任委員会での審査報告と採決を行います。

## 提出案件

12月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

- 単行議案
  - ・人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて
 ほか1件

- 予算
  - ・平成23年度須賀川市一般会計補正予算(第6号)
  - ・平成23年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
  - ・平成23年度須賀川市水道事業会計補正予算(第2号)
 ほか4件

- 報告
  - ・専決処分の報告について

### 議会傍聴してみませんか

須賀川市議会では、震災により市役所本庁舎が被災したため、岩瀬支所3階に移転いたしました。

議場でのディスプレイによる映像表示とマイクセットが一新されましたので、ぜひ議場にお出かけください。

議会はいずれも午前10時からの開会を予定しています。

本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.city.sukagawa.fukushima.jp>)

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。 ☎ 65-2409

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

# 議員辞職勧告決議について

須賀川市議会議長 鈴木忠夫

本市議会の圓谷年雄議員が、去る10月19日に道路交通法違反（酒酔い運転）の疑いで逮捕されたことは極めて遺憾であり、市民の皆様をはじめ、関係各位に対し、深くお詫びを申し上げます。市議会議員は、市民の代表として自らその職責の重さを深く自覚し、高い倫理観と見識を持って、市政の進展と市民のしあわせ実現に努めなければなりません。

圓谷議員が起こしたこのような行為は、市民の負託を受けた厳粛な議会への信頼と品位を著しく傷つけるものであります。また、議員である以前に一市民としての資質を問われるものであり、その政治的・道義的責任を免れるものでなく、市民感情からして許されるものではありません。

よって、須賀川市議会は議会の権威保持と名誉回復のため、圓谷年雄議員に対して、自らの意思により議員を辞職すべきであるとの決議を、去る10月26日開催の9月定例会最終日で、出席議員全員の賛成により可決しました。

今後は、須賀川市議会議員として、また議会全体として、二度とこうしたあつてはならない不祥事を起こすことのないよう強く求めるとともに、法令遵守を徹底して参ることはもとより、信頼の回復に向けて議会一丸となって努力して参る所存であります。

## 編集後記

早いもので本年も、師走の12月になってしまいました。3月の大震災以来9ヶ月の月日が経ちましたが、希望を無くす事なく、気持ちを強くして、ともに手を取り合って、復興への道程を歩んでまいりましょう。

「すかがわ探訪」という題材で、須賀川の名所名跡をご紹介します。今回は「すかがわ探訪・逸品紹介」という内容で、名産品をご紹介します。第一弾として須賀川市農業開発公社のヒット商品を掲載いたしました。

今後は、名所名跡なども含めまして広い意味での「すかがわ探訪」という感覚で、表紙を飾ってまいりますので、どうぞお楽しみにしていただきたいと思っております。

今月には「須賀川市震災復興計画」が議会に説明される予定となっておりますが、市民の皆様とともに将来に向けて希望の持てる内容の計画策定を目指してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。



### 議会広報委員会

- 委員長 五十嵐 伸
- 副委員長 石堂 正章
- 委員 圓谷 年雄
- 委員 安藤 聡
- 委員 本田 勝善
- 委員 川田 伍子
- 委員 市村 喜雄
- 委員 水野 敏夫